

日交研シリーズ A-641

平成 26 年度自主研究プロジェクト

「サプライチェーン・マネジメントから見た物流施設の立地場所と道路交通ネットワークの相互関係に関する研究」

刊行：2016 年 2 月

サプライチェーン・マネジメントから見た物流施設の立地場所と  
道路交通ネットワークの相互関係に関する研究

A Study on the Relationship between Logistics Facilities Location and Road Traffic Network  
at the View Point of Supply Chain Management

主査：岩尾詠一郎（専修大学商学部教授）

Eiichiro IWAO

要 旨

従来の物流施設は、原材料保管が多かったため、長期間の保管に利用されていた。これに対して、近年の物流施設は、段ボール箱単位や個品単位の貨物の取り扱いが増え、入出荷、流通加工などの作業が、多くの作業員や荷役機械によっておこなわれ、物流施設を拠点に輸配送もおこなわれるようになってきている。つまり、このような物流施設では、貨物車の出入りが頻繁になるため、円滑な貨物車交通を確保する必要性が高まっていく。このように、物流施設が有する機能が高度化すると、道路交通ネットワーク計画もそれに合わせて変更されなければならない。これらを検討するためには、商品や物資の生産から消費までの一連の流れを明らかにする必要がある、サプライチェーン・マネジメントの視点にたった検討が重要となる。

そこで本研究では、サプライチェーン・マネジメントの実態と、サプライチェーンの計画を支えるシステムの内容を明らかにするとともに、サプライチェーン・マネジメントと物流施設の立地と道路交通ネットワークとの相互関係を明らかにすることを目的とする。

具体的には、下記の手順にそって研究を進めた。

1 章の『はじめに』では、本研究の背景と目的について述べた。

2 章の『サプライチェーンと SCM』では、サプライチェーン・マネジメントが必要となった理由を述べるとともに、サプライチェーンとサプライチェーン・マネジメントの定義をした。

3 章の『SCM における調達・生産・販売管理と在庫・輸配送管理の種類と方法』では、サプライチェーンと 5 つの管理の関連性について述べた。

4 章の『SCM における調達・生産・販売管理と在庫・輸配送管理の内容』では、調達、生産、販売管理と在庫、輸配送管理別にそれぞれの管理内容について述べた。

を明らかにした。

5 章の『物流ネットワークにおける物流施設の立地場所』では、物流施設の立地と道路交通ネットワークとの相互関係を明らかにした。

キーワード：サプライチェーン・マネジメント、物流施設、交通ネットワーク

Keywords: Supply Chain Management, Physical Distribution Facilities, Transportation Network